チーコ

つげ義春

昭和12年、東京に生れる。小卒。デビュー作「噂の武士」('65・8月号)

この数年ガロは読んだことがありませんので、とくに感想はありません。不勉強を反省しております。

第一そんなお金があるのかい
本当言うと私もうズーッとパチンコやめてるのよ

ほらパチンコやったつもりで六百円たまったのよ
こいつヘソクリしてたのか

いけないもうお店へ行く時間だ

あーあまた酔っぱらいの相手するのか

あんたこん中にもやしとソーセージ入ってるからね

いためるのよ
迎えに来てね
おじさん文鳥まだいる?

ほら可愛いでしょうが……

篭はどうするの
これが二百円で一番安いよ

いいのよはじめはボール箱でネ
ウン電球を入れてやれば

餌はおまけだ
オットそうこなくちゃ

まいど………

じゃあんた行ってくるわね

餌は水でやわらかくしてからよ
うん
駅長

タタタタ

ピピピピピ
ピー
ピー
グググ
よく
くうなあ
こっちの
エサのしたく
もしなくちゃ
……………
ジジジぃ
ゴー

あのー いまの 電車で……
そう 終電だよ

どう したん だろう

先に帰ったのかな?

アパー

あれ?鍵があいてる

ガラ

どうしたんだい電気もつけないで

いつ帰って来たの
いや!見ないで

酔ってるのか

まっ赤じゃないか
胸がドキドキして苦しい

顔がはれてるみたいよ
なぜ飲めもしない酒なんか

しかたないわよお客さんのつき合いだもの
いつもは絶対飲まないくせに

今日は特別だったのよはじめて私を指名してくれたお客さんだもの
もの好きな客もいるものだ

その人テンデカッコいいんでやんすのあんたと同い年で車なんか乗りまわしちゃってさ…
それでいままでつき合ってたのか

ぼくは駅で二時間半も待ってたんだぜ
せっかく指名してくれたんだもの断われないじゃない

車でどこへ行ったんだ
新宿へ出てそこで飲まされてそれから少しドライブしたのよ

どこまで?
よくわからない道が暗かったので

少しぐらい覚えているだろう……なッ！どの辺を走ったのだ
しらないわよ

へんあやしいもんだ
へんな言い方しないでちょうだい！

そんなに私のことが気になるのなら早くお店をやめさせてよ

ほんの一時しのぎと言ったくせに

アーッくやしい！

……

文鳥見ないのかい

バタ
バタ

ほらあんた
もう窓をあけといても逃げたりしないわよ

チチチ

だめよチーコお仕事の邪魔をしては
じゃれてんだネ

ほれチーコチーコ

グルルル

痛い!

いやだわ鼻毛なんか抜いて

ひえーッ女にも鼻毛なんかあるの
アーいた

わーッ
やだな
きたねえよ
ペッ
ペッ

やだァ
笑うか
笑うか
ウッ
ヒヒヒ

キャッ
キャッ
ヒヒヒ

ぼく達
チーコが
来てから
けんかしなく
なったね
チーコは
幸せの
青い鳥よ

ほら
ほら
バーァ
おどろい
たか

そうだ
絵を描い
てやろう
俺 絵
描くの商売
なんだぞ
サッ
サッ

こらっ！動くなというのに
Peace
Peace
ははは しばらく辛棒しろ
顔を描くだけだ
さあ出来上り
それッ！
Peace
高い高い
うまい！
もう一度

チチ
チチ
ace
ドサ
Peace
ヒュー―ッ
クエ―ッ
ククク
嘴がまッ白になっていく

本当だってば
まだ疑うのか
信じられないわ

私がチーコをあんまり可愛がるからあんたヤキモチやいて殺したのよ
おかしいじゃないの鳥は鳥目だから夜逃げたりするはずがないわよ
そんなとこ掘ったっているもんかい
そこは隣りの庭だからあまり掘りかえすとしかられるぜ

本当に逃げちゃったのかな

チーコ………………

あんたチーコいたわよ
エッ!

ほらここよ

アッ！
チーコ
チーコ
ネ
本物みたいでしょ
チュ
チュッ
アッ
チーコ
チーコ

完